

同推協だより

No.147号

2026年10月発行
神前地区同和教育推進協議会
Email:kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp



☆本年度も夏の啓発委員研修会が開催されました！

7月24日、31日、8月7日、21日（金曜日）の午前と夜に各4回神前小学校の多目的室と図書室をお借りして、全体会・班別懇談会を延べ405名の参加で行いました。テーマは「善意の裏側にある思い込み『よかれと思って』」でした。親切心から無意識に発した言葉や行動が本当に正しかったのか？を自らの体験から振り返りました。

第1回目は「一緒に考えよう、身近にある人権」と題して人権プラザ神前指導主事の狩俣先生に講演をして頂きました。漫画サザエさんの家族の日常風景など、多くの例からの気づきをきっかけにして講演後班別に分かれて懇談を行いました。

2回目は「日常の中に潜む偏見自分の「心の反応」を知る（気づく・向き合う）無意識の思い込み」

3回目は「よかれと思ってしたこと。言ったこと。表現で伝えるコミュニケーション（アサーション）を考える。（行動）」

4回目は「自分自身の価値観や判断基準（わたしのものさし）」研修会のまとめとして、1回目からの「心の反応」の変化について確認を行い話し合いました。



講演会（全体会）の様子

参加者の声から（投稿やアンケート結果よりの抜粋）

☆気にしなければ流れてしまうことを、立ち止まって考えることは大切。おかしいと思った時は、相手を責めるのではなくどうしたことなのか聞くようにしたい。

☆「差別をする人」の反対を考えるのは意味があった。殆んどの人が前向きに考えることが出来る様になっていて研修の大切さを実感しました。

☆「すごいな」と相手を誉める言葉でも、その人のことを全く考慮しない発言、そこに自分の中の偏見が隠れているのではないかという話題が印象に残った。



班別懇談会の様子

(1)

啓発委員研修会の報告の続き

☆差別をなくしていくためには仲間をつくり増やしていく必要がある。まずは自分が正しく学び気づけること、その上で仲間になってもらえるような声かけをしていきたい。

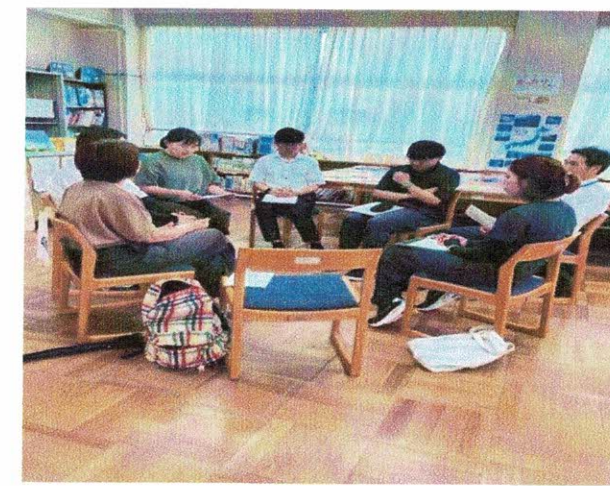
☆押し付けにならないように。相手がどんな気持ちでいるか？少数派に我慢を強いてないか？立ち止まって考えることが大事とよく理解できた。

☆敵対することでは何も生まれない。相手の思いを知り、そこから話し合うことが大切。

☆同和問題は解決に向けてとても時間がかかっている。知らない人や自分には関係がないと感じる人が多く、より早く変えていこうとする力も弱い。まずは正しく知ることが大切で子どもの時から正しい知識や教育を積極的に与えていかなければいけないと思う。

☆普通という概念が変わり、普通＝当たり前という考え方を直そうと思った。（普通は人それぞれで判断基準が違う）などの多くの感想が提出されました。

今回アサーション「自分も相手も尊重しながら自分の意見や気持ちを率直に伝えるバランスの取れたコミュニケーションの方法」について学びました。コミュニケーションのタイプには攻撃型（自己主張型）非主張型（自己抑制、迎合型）があるがアサーティブ（バランス型）が相手との信頼関係の向上や自己のストレスや我慢を減らせる効果があるとされています。発言時に意識すべきポイントは・誠実（自他ともに嘘をつかない）・率直（遠まわしに言わない）・対等（上下関係なし、一人の人間として向き合う）・自己責任（自分の言葉の結果を受け止める）。具体的な伝え方の方法（DESC法）としてD（Describe）描写する（客観的な事実や状況を伝える）、E（Express）表現する（自分の気持ちや意見を表現する）、S（Specify）提案する（具体的な解決策や要求を提案する）、C（Choose）選択する（相手の反応に応じた選択肢や代替案を考える）や（Consequence）結果を伝える（提案を実行した場合の結果や見通しを伝える）が代表的な手法として使われています。



(2)



フィールドワークで宇治市に行きました！！

人権学習の一環として今年度は同推協の啓発委員以外の地域住民の方も多数参加して頂き宇治市のウトロ平和祈念館と宇治平等院に行きました。台風と秋雨前線の影響で午後からは雨が降ってきましたが、参加者の多くから参加してよかった、勉強になったとの感想を頂きました。

ウトロ平和祈念館では地名の由来（旧地名宇土口から朝鮮半島出身者にも分かり易いカタカナでウトロと表示されるようになったこと）や京都飛行場建設のために、朝鮮出身者が国の仕事だから徴用にはとられないということで集められ飯場が作られ生活を始めたこと、日本国の敗戦のため財産や親戚もない為朝鮮にも戻れない人たちが生きるためにウトロに残らざるを得なかったことで米軍や日本人からも不当な差別を受けることになり、自分たちの生活の場を守るため闘わなければならなかったことを、在日3世の副館長やスタッフの女性から説明を受けました。差別を受け苦しい闘いの中でも明るさを忘れず、来客者には「ご飯食べたか？」と挨拶とてなしをした一世のおばさんの話には感銘を受けました。（自分も楽な生活ではないのに）また差別した人を恨むのではなく、人を感じ今を楽しく生きること。未来志向の考え方には学ぶことも多く、また諦めず闘い続けた事には敬服しました。



ウトロ地区の飯場の移設復元建物の前で説明を受ける参加者

ウトロ平和祈念館前での集合写真

宇治平等院鳳凰堂とミュージアム鳳翔館

国宝・世界文化遺産国の史跡・名勝を拝観しました。平等院の名前は仏（阿弥陀如来）の救済が全ての人に平等であることに由来しているとのこと。1000年以上の歴史ある展示品を観ることで古代ロマンを感じる時間を過ごせました。



(3)

国宝平等院鳳凰堂

地域の学校の人権活動の報告

★ 子どもたちによる人権カルタができました！！

神前小学校4年生（現5年生）の児童の皆さんの人権学習の一環で、神前同推協との交流懇談会がありました。神前同推協がどうして出来たのか、今迄どんな活動をしてきたのか、同推協の人権カルタはいつ頃どの様にして作られたのか等、子どもたちの疑問質問に答える形で進めるなかで、特に人権カルタの制作に多くの児童が興味を示しました。同推協のカルタは個人で作ったのではなく、多くの仲間が各々の特技を活かして（標語が得意な人は読み札を、絵が得意な人は絵札を、色塗が得意な人は絵札の色塗をして）出来上がったことを話す中で、「クラスの仲間と協力して作って見たら？」という話が出ました。その後4年生のA・B両クラスで人権カルタの制作が決まり両クラスで6セット（各3セットずつ）作りました。4年生の児童の皆さんの頑張りや先生方の指導に敬意を表します！！

こどもたちの人権カルタの一部

これらの人権カルタは秋の地区文化祭の人権コーナーで展示しますので是非ご覧ください！



神前同推協には2001年に作られた人権カルタ「知らんぷりせんここに編」があります（本格的カルタ仕様です）非売品のため必要な時には無償貸し出しを行っています。興味のある方は連絡を頂ければご覧いただけます、また懇談会等で使いたい時には貸し出しますので、遠慮なくご連絡ください。日程に余裕をおもちいただくと有難いです。連絡先は下記に同じです。（同推協本部または広報部書記宛で連絡ください）

同推協では常時啓発委員（仲間として活動して頂く方）を募集しています！
【問い合わせ先】神前市民センター内 団体事務局 TEL・fax 327-1501(受付午後)

Email: kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp

(4)